1977 年 12 月 3 日第三種郵便物認可（毎月 1・2・3・5・6・7 の日発行）2010 年 4 月 24 日発行 SSKP 増刊通巻 4414 号

# ＳＳＫＰ はれのちくもり

# 棕櫚亭通信

## 第 58 号

## 自立支援法への事業移行を終えて

### ～新たな方向へのスタート　～

障害者自立支援法が施行されてから４年が過ぎようとしています。その間棕櫚亭では、１年に１施設ずつ新しい事業への移行をすすめてきました。その過程の中には、移行だけではなく棕櫚亭Ⅱの事業廃止という苦渋の選択もあり、この新法への事業移行は、単に施設の名称が変わるというだけではない大変さを実感してきました。準備期間も含めると、ここ５年間は事業移行にかかりっきりになっていたと言えますが、一方で社会状況やニーズに合ったサービスを再考するきっかけとして全体で取り組むことができたのはよかったと感じています。

しかしながら、サービス提供の土台となる組織作りについては、上記のような事情からこの５年間歩みをストップせざるを得ませんでした。特に職員の身分保障と人材育成については、福祉業界全体でもテーマとなっている課題ではありますが、棕櫚亭でもなかなか抜本的な取り組みができないでいたので、早急に取り組む必要がありました。21 年度は、最後に残った棕櫚亭Ⅰが地域活動支援センターへ事業移行し、Ⅱの廃止準備も順調に進んだこともあり、再度着手し始めました。

身分保障については、後半から国の「処遇改善事業」助成金を活用し、給与・諸手当に充当し始めました。また、非常勤の方から優先に就業規則の見直しを図ってきています。また人材育成については、他法人の研究事業に協力する形ではじまった取り組みが職員の育成計画に発展し、現在出来上がりつつあります。

そして 22 年度は、各事業の施設長を中堅層の職員に引き継ぎ、新たな事業所体制がスタートしました。 21 年度から再開した組織作りの取り組みに新しい仲間が増えましたので、今年度も一つ一つ進めていきたいと考えております。

また、逐次法人状況としてお伝えしていきますので、今年度もよろしくお願いいたします。

棕櫚亭　　法人本部

## なびぃ家族講座～心の病を持つ方のご家族に向けて～

### *ー就労および就労支援についてー　報告*

去る３月６日（土）になびぃ連続家族講座の第３回目として、就労移行支援事業所ピアスの紹介と、現ピアスメンバーと卒業生に、実際の就労支援についてご家族向けに話していただきました。

ピアスで行われている訓練の状況や、そこに通っているメンバーの気持ちや将来への希望、卒業生としてふり返って思うことなど、ご家族に対するそれぞれの思いが凝縮された話に、胸に迫るものがあったように感じま

早いものでピアスでトレーニングを始めてから、一年と三ヶ月になりました。自分でも今年は「勝負の年」だと思っていたら、担当のスタッフの方から清掃の仕事の話をいただき、正直とまどいもありましたがお受けすることにしました。仕事の内容はご高齢の方々に向けてのデイケアを行っている施設での清掃です。週三回、一日三時間半の勤務です。まずは実習をジョブコーチの人に一緒についてもらい近々行う予定です。

今ふり返ってみて思うことは、やりたいことより、今すぐにできることを仕事にするべきだということでした。私は清掃を当初仕事にするつもりはありませんでした。でも私は自分がどんな仕事に向いているのか、わからなかったのでピアスに来たわけです。ここは素直にスタッフの方の言うことに従ってみるべきだと思い、早めに頭を切り替えた方が結局は自分のためなのだ、と気付きました。

こうしてみるとチャンスはいつも全く何の前ぶれもなく、ある日突然予想だにしない形で訪れるものだとつくづく思いました。ですからいつその時が来てもよいように日頃から、どんな仕事でも気をぬかず、緊張感をもって普段からすごすことが大切であることを改めて感じました。

私が日頃トレーニングにおいて気を付けていることは、仕事場所がご高齢の方がたくさんいらっしゃるので、清掃の道具にぶつかって転倒事故などが起きないように、道具の置き場所置き方、使い方に注意をはらうイメージトレーニングをすることです。また英単語を暗記するときに使う単語帳を活用し、一枚ごとに作業内容を書き、一つの作業を終えたら、次のページをめくり常に作業内容を確認しながら、もれなく作業を遂行できるよう工夫をしています。

就職したのち、仕事がある程度こなせるようになったら、休日は料理をして、ゆっくり食事をしたいです。私は元々職人気質なので、このたびのチャンスを活して一つのものごとをやり通したと思えるレベルにまで達することができたら良いな、と思っています。

私がピアスでトレーニングを受けようと思ったきっかけは、私が知らぬ時から父が認知症になり、母がたった一人で介護をしていることを知ったことです。私に早く働けとも一言も言わず毎月仕送りをしてくれる母への申し訳なさを強く感じたことも、今が働き始めるのにちょうど良い

最後のチャンスだ、と思ったこともきっかけになりました。

また、時々報道される、無職四八歳の男が、父親から、いつまでもぶらぶらしていないで、早く正業につけ、と怒鳴られ、カッとなり父親を包丁で刺して殺してしまった、というよくある事件の存在も、私の背中を強く押す要因でした。人生の折り返し地点をすぎるまで、たいしたことのひとつも何もしてこなかった四三歳の私には、このような事件は本当に身につまされるものです。私はこの無職の男、また父親の気持ちの両方がとてもよくわかるのです。これはまさに現在の私の人生の延長線上にある事件なのです。

私の父は八五歳、母は八一歳です。もうすぐ家族が終わる日が刻々と迫っていることを、いつも、何をしていても考えてしまいます。色々あった家族です。ですからこそせめて最後くらいは、きれいに家族を終わらせたい。そのためには私が経済的に一人立ちすることが不可欠ではないか、と思うのです。自分の死、家族の死を四三歳という年齢になったからこそ真正面から意識できるようになり、ようやく働きたいと思えるようになったのです。

最後になりますが今まで支えて下さったスタッフの皆様、またトレーニングの様々な場面で色々と教えて下さり助けて下さったメンバーの方々のことを忘れずに仕事に励んでいく所存です。どうもありがとうございました。　　ピアスメンバー　　Ｏ・Ｔ

## ～ お し ら せ ～

### リーフレットが完成しました！！

「精神の病気を理解しサポートするために～こんな時どうしたらいいの？」

東京都の助成事業により、地域の方に向けてリーフレットを作成しました。病気についてのわかりやすい説明、困ったときの相談の仕方や相談の窓口、通所サービスや実際のケースについて具体的な内容を掲載しました。ぜひご一読いただき、お役立ていただければと思います。

賛助会員の方々には、別途ご送付いたしますので、ご覧ください。

### 22 年度会費用払い込み用紙を同封しました

22 年度用の払い込み用紙を同封させていただいております。お手数ですが、もよりの郵便局にてお振り込みいただきますようよろしくお願いいたします。なお、すでに現金等でいただきました皆様にはできるだけ同封しないよう気を付けておりますが、もし入ってしまっていた場合には処分していただけると幸いです。

# 小規模通所授産施設棕櫚亭Ⅱ 閉所の報告　～お別れ会を開きました～

昨年より、皆様にお知らせをしておりました棕櫚亭Ⅱは、３月 31 日をもって事業廃止となりました。

秋以降、自分の生活に何が必要かを職員と一緒に考えながら、施設見学、実習をへて新たな施設への移籍が本格的となりましたが、みなさん体調を崩すことなく、メンバー全員が新たな活動の場、相談先に移行することができました。

トゥリニテにおける絵画展“感謝展”の開催、そして３月 31 日はささやかですが、棕櫚亭Ⅱのお別れパーティーを行いました。

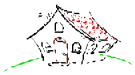
当日は、絵画の先生をはじめ、これまでお世話になった方々、また、すでに新しい施設に移籍した方も参加。一部はすこしかしこまって、メンバーから想い出や近況の報告を中心に、理事長よりⅡの設立時期からのお話をいただきました。二部は恒例の楽器演奏、歌のオンパレード、はては、この日のために腕をみがいた？マジックショーと時間を忘れて楽しみました。

企画や食事の手配、当日の進行など、メンバー中心に開催され、明るいお別れ会をしたいという皆さんの想い通り棕櫚亭Ⅱらしい、心温まる会となりました。

予想以上に次々と移籍が決まり、Ⅱでは合言葉のように“よかったね！チョット淋しくなるねえ…”と誰かれとなく呟く日もありましたが、とうとう、こんな風にして棕櫚亭Ⅱは３月 31 日をもって、事業廃止をむかえることになりました。

棕櫚亭Ⅱの活動を見守り、時には心配し応援して下さった賛助会の皆様、本当にありがとうございました。この場を借りてお礼を申し上げます。

## トゥリニテの事務所が引越ししました



昨年度末まで利用していた棕櫚亭Ⅱの事務所が、新たにトゥリニテの事務所になりました。住所・電話番号は今までと同じになります。

お近くにいらしたときには、レストランと共に是非お立ち寄りください。

【編集】 国立市富士見台 1－17－4 ピアス内　はれのちくもり編集委員会　　Tel　042－575-5911
【発行】 特定非営利活動法人　障害者団体定期刊行物協会
〒157-0073　　世田谷区砧 6－26－21　　Tel　03－3416－1698
【定価】100 円